

そうして着々と準備をし、2000年8月にエチオピアへ行く時が訪れました。バンコックで長時間待ち、アディスアベバ行のエチオピア航空に乗り込んだ時、初めて触れるエチオピアの空気に緊張し、身が震えました。未知なる世界へ向かう緊張感で胸がはちきれんばかりでした。そして長時間のフライトを経、やっとアディスアベバに到着しました。緑濃く、エネルギッシュなアフリカの地に着陸した瞬間、大地が歓迎している事を感じ、喜びが生まれます。鮮やかに真赤な花が咲き、爽やかな風が吹きのどかな空気に包まれるアディスアベバに着き、これから何が起こるのか、今までにない不安と緊張に身が引き締まります。



2000年8月エチオピアへ行く時が訪れました。



「自然には太刀打ちすら出来ないのだから」



## 初めてエチオピアを訪ねて

見るもの、触れるもの、全ては初めてのものでした。夕方、一斉に鳴り響く祈りの声。一瞬にし大地を叩きつける程に 降る激しい雨の音。異国の地に辿り着いたのです。ラリベラの岩の教会を見た時、大きな衝撃を受けました。私は今まで何を見てきたのかと思い、今まで見てきたものは、作りものだったと感じる程、表と裏が引っくり返る様な衝撃でした。自然そのものの教会を見た時、神を見たのです。畏れ多く身が震えます。

アクスム、シバの女王の宮殿跡等を見た後、ブルーナイルのダイナミックな光景を見た時、人間の作ってきたものはちっぽけであり、いつかは失く なるものである事を指し示すかの様に、真実の迫力を持ち私達に訴えかけている事を感じました。自然はダイナミックでエネルギッシュで、天地が ひっくり返る程の音をたて激しく降る雨の音に「人間よ傲慢になるな。自然には太刀打ちすら出来ないのだから」と、言われている様でした。一瞬にし停電になり、戸惑う自分の愚かさ、ちっぽけさに笑ってしまいます。